

家庭教育の支援に関して
講じた施策について

令和元年度



岐 阜 県

報第 60 号

令和元年度家庭教育の支援に関して 講じた施策について

岐阜県家庭教育支援条例（平成 26 年岐阜県条例第 83 号）第 20 条
第 1 項の規定により、家庭教育の支援に関して講じた施策について
報告します。

令和 2 年 9 月 17 日報告（提出）

岐阜県知事 古田 肇

はじめに

この報告は、岐阜県家庭教育支援条例（平成 26 年 12 月 22 日条例第 83 号）第 20 条第 1 項に規定する「家庭教育支援に関して講じた施策に関する報告」です。

その内容は、同条例第 4 条に規定する「県の責務」及び第 11 条から 18 条に規定する家庭教育を支援するための施策に基づき、各項目を整理しています。

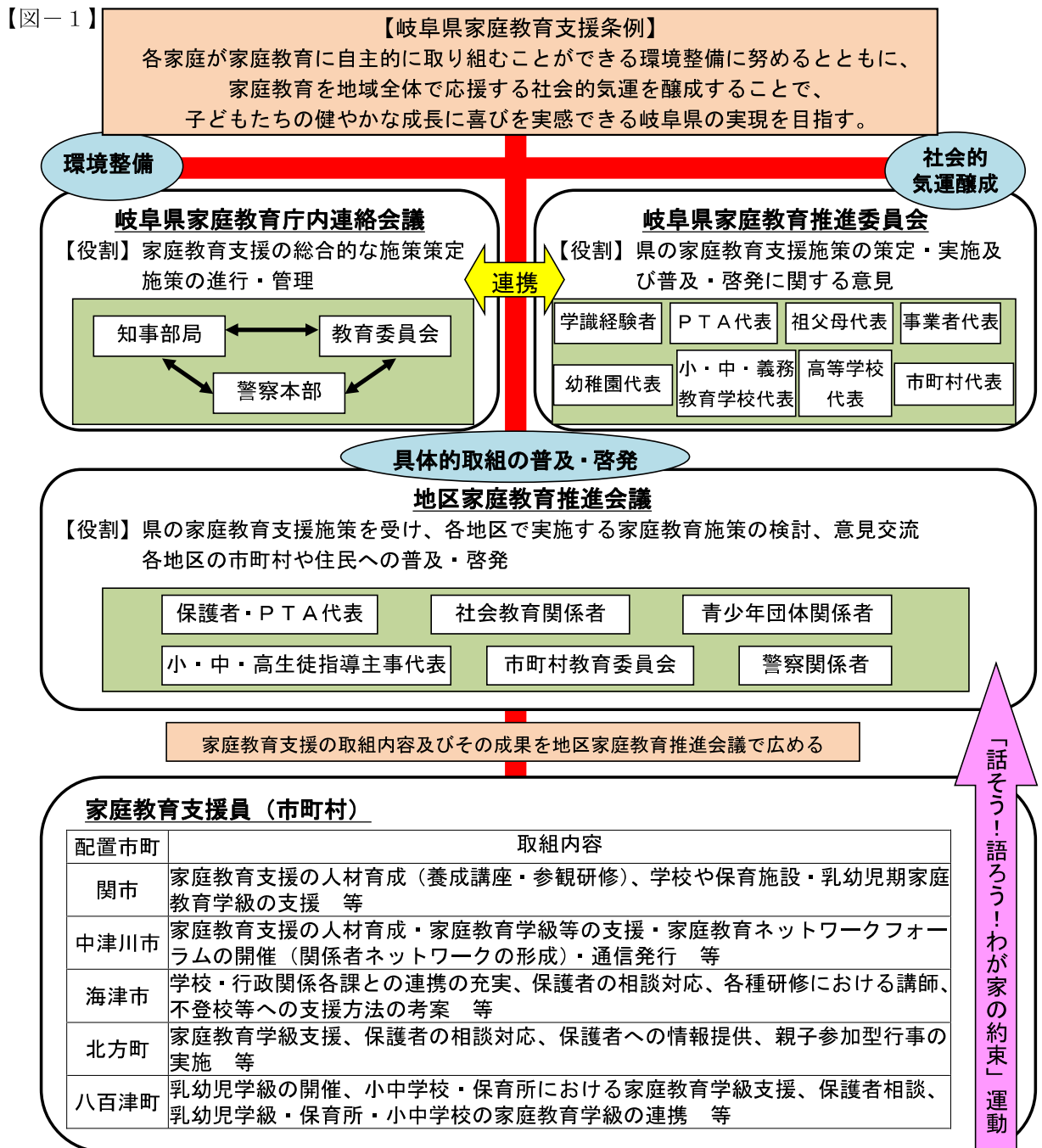
目次

I	家庭教育の支援体制の整備	1
II	家庭教育支援施策の総合的な実施	3
III	家庭の教育力向上に向けた展開	5
IV	令和元年度の取組について	7
1	親としての学びを支援する学習の機会の提供【条例第 11 条】	7
2	親になるための学びの推進【同 12 条】	11
3	人材の養成等【同 13 条】	13
4	保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進【同 14 条】	17
5	相談体制の整備等【同 15 条】	26
6	広報及び啓発【同 16 条】	34
7	団体活動の促進【同 17 条】	39
8	家庭教育を实践する日【同 18 条】	42
V	令和元年度 家庭教育支援施策一覧	44

I 家庭教育の支援体制の整備

岐阜県家庭教育支援条例第4条第1項では、県の責務として、「家庭教育の支援を目的とした体制を整備するとともに、家庭教育支援施策を総合的に策定し、及び実施する」ことを規定しています。また、同条第2項では、「家庭教育支援施策を策定し、及び実施するに当たっては、市町村、保護者、地域住民、地域活動団体、学校等、事業者その他の関係者と連携して取り組むものとする」と規定しています。

令和元年度において、県では図-1のような体制で支援を行いました。



令和元年度の県の支援体制は次のとおりです。

1 岐阜県家庭教育推進委員会

構成：保護者・学校・地域・事業者・祖父母等の各関係団体の代表、学識経験者
第1回

日時：令和元年7月4日

議題：県の家庭教育支援施策について

概要：令和元年度施策の取組状況と令和2年度施策策定に向けた意見交流

成果：学校等で実施する家庭教育学級への参加が難しい保護者への対応や、高校生が家庭教育を学ぶ機会、高齢者の家庭教育支援等について意見が出された。

第2回

日時：令和2年2月14日

議題：令和元年度家庭教育支援関連施策の実績について

令和2年度家庭教育支援関連施策について

概要：令和元年度施策の取組実績の確認と令和2年度施策の取組に向けた意見交流

成果：「親になるための学び」や、家庭教育支援者の養成について意見が出された。効果的な相談窓口の在り方や周知方法について意見を交流した。家庭教育プログラムの内容と周知方法について意見を交流した。

2 地区家庭教育推進会議

構成：保護者・PTA代表、社会教育・青少年団体・警察関係者、市町村教育委員会、小・中・高生徒指導主事代表

日時：岐阜地区 ①令和元年5月13日（小）・5月27日（幼保・中）

②令和元年6月26日 ③令和元年10月29日

西濃地区 ①令和元年5月10日（小中）・5月17日（幼保）

②令和元年5月30日 ③令和元年11月1日

美濃地区 ①令和元年4月16日（郡上市/幼保・小中）

4月17日（関・美濃市/小中）・4月25日（関・美濃市/幼保）

②令和元年6月28日 ③令和2年1月29日

可茂地区 ①令和元年5月23日（幼保）・5月30日（小中）

②令和元年6月20日 ③令和元年11月7日

東濃地区 ①令和元年5月14日（幼保）・5月15日（中）

5月28日（小）

②令和元年6月20日 ③令和2年1月29日

飛騨地区 ①令和元年5月15日（小中）・6月17日（幼保）

②令和元年6月12日 ③令和元年10月23日

概要：具体的な家庭教育施策の取組事例紹介と検討、意見交流

成果：家庭の教育力向上によるいじめ問題への対応について説明。市町村のきめ細かな家庭教育支援施策について情報を共有。小中高等学校の児童生徒を交えた家庭教育や地域活動についての意見交流会を実施。

3 岐阜県家庭教育庁内連絡会議

構成：知事部局、教育委員会、警察本部の関係各課（全19課）

第1回 日時：令和元年6月10日

第2回 日時：令和2年1月22日

概要：家庭教育推進委員会での意見共有と、県の家庭教育支援施策についての情報交流及び連携調整

成果：チラシ等の配付や研修会講師の情報提供等についての連携、家庭教育プログラム作成への協力が確認された。高校生が家庭教育を学ぶ機会、祖父母の家庭教育支援について情報を交流した。

4 家庭教育支援員（市町村）

家庭教育支援員を配置した5市町の取組とその成果

開市：家庭教育を支援する人材育成を進め、家庭教育支援チームを組織した。家庭教育学級の参観等を通して、具体的な支援内容を学んだ。

中津川市：保護者、家庭教育支援者及び行政関係者等による支援ネットワークの形成と、持続的な人材育成により、市内全域できめ細かな支援を行った。

海津市：相談体制の充実により、多くの保護者の相談に対応することができた。支援員のキャリアを生かした家庭教育講座を開催した。

北方町：保護者が集まる場に出向いた相談対応や家庭教育の情報提供を行うことで、継続的できめ細かな支援を行った。

八百津町：乳幼児学級、保育園や小中学校の家庭教育学級を連携させることで支援を充実させた。子育ての相談窓口を設置し、きめ細かく対応した。

II 家庭教育支援施策の総合的な実施

岐阜県家庭教育支援条例は、第11条から18条にかけて、県が実施する「家庭教育を支援するための施策」を掲げています。県には、これら施策を総合的に策定し、実施する責務があります。

（親としての学びを支援する学習の機会の提供）

条例第11条では、県は、「親としての学びの方法の開発及び普及」を図るとともに、「保護者の学習の機会を提供」するものとしています。県では、学校や園等で開催される家庭教育学級に参加できない人でも在宅で取組を進められる、「在宅取組型家庭教育学級」の普及を促進するために、在宅取組の説明や実践紹介を充実させた、「家庭教育プログラム（乳幼児期編）」の改訂版を作成し、幼稚園・保育園等に配付しました。また、父親の育児参画を促すために、「父子手帳」の配布や「パパと過ごす図書館」など親子参加型の催しを開催しました。

（親になるための学びの推進）

条例第12条では、県は、「子どもが将来親になるための学びの方法の開発及び普及」を図るとともに、「子どもの発達段階に応じた親になるための学びの機会の提供を支援」するものとしています。県では、若い世代の人生設計を前向きに考えられる啓発活動として、企業の若手社員、大学生、高校生、中学生を対象に「ライフデザイン講座」を実施しました。また、大学生を対象とした食育講座や大学祭を活用した食育展示など、これから親になる世代への食育活動を実施しました。

（人材の養成等）

条例第13条では、県は、「家庭教育に関する支援を行う人材の養成及び資質の向上」並びに「人材相互間の連携」を推進するものとしています。県では、家庭教育学級を推進する人材を養成することを目的に、「家庭教育学級リーダー研修会」を実施しました。

また、市町村職員を対象とした児童虐待防止のための適切な指導・援助を学ぶ研修会を開催しました。

（保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進）

条例第 14 条では、県は、「保護者、地域住民、学校等その他の関係者が相互に連携して取り組む家庭教育を支援するための活動を促進」するものとしています。県では、家庭教育推進専門職を県庁及び 5 県事務所に配置し、関係機関との連携を図りながら家庭教育学級や企業内家庭教育研修の支援、市町村の家庭教育支援についての指導助言等を行いました。また、「あったかい言葉かけ運動」や「1 家庭 1 ボランティア」運動を展開し、家庭や地域における温かい人間関係づくりや豊かな心を育む取組を推進しました。さらに、中学生、高校生、少年警察ボランティアや P T A 関係者等が参加する「少年非行防止タウンミーティング」を県下全域で開催し、規範意識の醸成を図りました。

（相談体制の整備等）

条例第 15 条では、県は、「家庭教育に関する相談に応ずるため、相談体制の整備、相談窓口の周知その他の必要な施策を講ずる」ものとしています。県では、青少年 S O S センター、子供 S O S 2 4 電話相談、少年サポートセンターなどの相談窓口を開設するとともに、県内全中学校区にスクールカウンセラーを配置して教育相談体制の充実を図りました。また、高校生・中学生を対象に S N S を活用した相談を実施しました。

（広報及び啓発）

条例第 16 条では、第 1 項で、県は、「家庭教育に関する情報の収集、整理、分析及び提供を行う」ものとし、第 2 項で「家庭教育の支援に関する社会的気運を醸成するため、家庭教育の重要性並びに家庭教育における保護者の果たす役割及び責任について、県民の理解を深め、意識を高める啓発を行う」ものとしています。県では新聞や広報誌への掲載、リーフレット等の配布、講演会や街頭キャンペーン、ステージイベントの実施など、様々な方法で家庭教育に関する情報発信、普及啓発を実施しました。

（団体活動の促進）

条例第 17 条では、県は、「家庭教育の支援に積極的に取り組む団体の活動を促進するため、必要な施策を講ずる」ものとしています。県では、青少年育成県民運動を担う公益社団法人岐阜県青少年育成県民会議の活動を支援するほか、P T A や各青少年団体の活動を支援しました。

（家庭教育を实践する日）

条例第 18 条では、県は、「家庭教育についての関心と理解を深め、積極的に家庭教育を实践する意欲を高めるため、家庭の日（毎月第 3 日曜日）及び早く家庭に帰る日（8 のつく日）を家庭教育を实践する日とし、家庭教育についての関心と理解を深めるための啓発活動その他の事業を実施するよう努めなければならない」としています。県では、「家庭教育を实践する日」の具体的な取組として、家庭での約束づくりとその実践を通じて家族で話をする機会を増やす、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の普及啓発と、「家庭の日」及び「早く家庭に帰る日」の普及啓発に取り組みました。

このように、県の令和元年度家庭教育支援施策を、条例が掲げる分野すべてにわたり広く実施しました。また、各施策の実施にあたっては、情報モラルや、食育、ワーク・ライフ・バランス、幼児教育等について、担当課と情報交換を行い、研修会等において他課が主管する施策のチラシ等を配布するなど、各課で連携をとりあいました。

今後も、関係課（機関）が、これらの支援施策の情報を共有し、連携を一層進めるこ

とで、より多くの県民が家庭教育に主体的に関わり、取り組むことが期待されます。

Ⅲ 家庭の教育力向上に向けた展開

県内小中学校で開催されている家庭教育学級への保護者の参加率は年々上昇し、保護者の学びが充実してきています。



また、岐阜県家庭教育支援条例の制定を受けて始めた「話そう！語ろう！わが家の約束」運動は、令和元年度には、類似の運動も含め、小学校の91.5%、中学校の78.0%で取り組まれ、学校・P T Aぐるみで家庭内のコミュニケーションが深まるよう努めていただいています。

一方、平成31年4月に文部科学省が実施した「全国学力・学習状況調査」における、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」という質問に対し、「①している」「②どちらかといえば、している」と回答した児童生徒の割合は小学校では77.3%で、中学校は76.5%となっています。

保護者が家庭教育について学ぶ機会が増え、家庭の教育力向上に向けた取組を進めることで、家庭内のコミュニケーションも深まってきていますが、まだ十分な状況であるとはいえません。

例えば、令和元年度県政モニターアンケート調査によると、子育てにおいて心配なことについて、「子どもの預け先・相談先が十分でないこと」と回答した子育て中の方の割合は39.4%を占めます。家庭教育学級にも参加できず、悩みや問題を抱えたまま孤立している家庭こそ、支援が必要です。

県では、全ての家庭が家庭教育に主体的に取り組めるよう、子どもの発達段階に合わせた切れ目のない支援、また、各家庭の状況に応じた支援を実施していきます。

◎全ての家庭が家庭教育に主体的に取り組むことができる環境づくり

① 就学前の家庭教育支援施策の充実

平成 28 年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」（文部科学省）によると、末子年齢 0～3 歳の保護者の 43.3%、末子年齢 4～6 歳の保護者の 43.0%が「子育てについて悩みや不安がある」と回答しています。

県では、就学前の家庭教育支援を充実させるため、幼稚園や保育所等における家庭教育学級の普及・充実を目指し、関係者への家庭教育学級リーダー研修会への参加を働きかけていきます。また、幼稚園や保育所における家庭教育学級や各市町村の乳幼児学級等における実践事例を県内に広め、普及していきます。

② 在宅取組型家庭教育学級・企業内家庭教育研修の普及促進

共働き家庭が多くなり、平日に開催される家庭教育学級に参加することが困難な家庭もあります。

県では、在宅で取り組むことができる家庭教育学級の実施方法や実践事例を県内に広め、在宅取組型家庭教育学級の実施を働きかけます。また、企業や事業所において、職場研修として家庭教育について学ぶ企業内家庭教育研修の開催を働きかけます。

③ 家庭教育支援員の配置

全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるようにするためには、関係機関が連携・協働して家庭の状況の多様性に応じたきめ細かな家庭教育支援を実施していく必要があります。

県では、平成 28 年度から、地域の状況に詳しい人材を「家庭教育支援員」として配置し、地域内の関係部署との連携を図りながら、きめ細かな家庭教育支援に取り組む市町村を支援しています。令和元年度は 5 市町に家庭教育支援員が配置され、地域全体で家庭教育支援が実施されました。今後はこれら 5 市町の実践事例を県内に広め、普及していきます。

1 親としての学びを支援する学習の機会の提供

IV 令和元年度の取組について

1 親としての学びを支援する学習の機会の提供【条例第11条】

事業名	① 家庭教育プログラムの普及
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	322 千円

<事業概要>

- (1) 保護者が参加する家庭教育学級でプログラムを活用できるように、家庭教育学級リーダー研修会において、同プログラムを体験研修する。また同プログラムの活用実践例を紹介する。
- (2) 各学校で開催される家庭教育学級や学級懇談会等で、プログラムを実施する。

<令和元年度実績>

- ・家庭教育プログラム（乳幼児期編）改訂版 1,100 冊を作成し、幼稚園・保育施設等に各1部配布した。
- ・保護者が参加する家庭教育学級でプログラムを活用できるように、家庭教育学級リーダー研修会において、同プログラムの体験研修の実施や、活用実践例を紹介した。
- ・各学校で開催される家庭教育学級や学級懇談会等で、プログラムを実施した。

事業名	② 在宅取組型の家庭教育学級の普及
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	0 千円

<事業概要>

多くの保護者が家庭教育学級に参加できるように、各学校で行われる家庭教育学級の講座に在宅取組型を取り入れる。

<令和元年度実績>

- ・在宅取組型の家庭教育学級の実施状況
小学校（764 件実施） 中学校（246 件実施）

事業名	③ 子育て世代・子育て支援関係者への支援
担当課	環境生活部県民文化局 文化伝承課
令和元年度事業費	226 千円

<事業概要>

父親をはじめとする子育て世代とその子どもを対象に、親子で一緒に参加し体験することができる催し「パパと過ごす図書館」を実施し、父親の育児参加や子育て世代の図書館利用を促す。

1 親としての学びを支援する学習の機会の提供

<令和元年度実績>

- ・「パパと過ごす図書館」（年間6回開催 親子66組176名参加）

内容：「お父さんお母さんのための読み聞かせ講座」「手あそび・歌あそびの会」「布絵本ワークショップ」「科学ワークショップ」「夏休み図書館探検」「木のおもちゃで遊ぼう」

事業名	④ 食育推進連携事業（食育出前講座、企業・職場給食と協働した食育の普及）
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	4,071千円

<事業概要>

心身の健康増進と豊かな人間形成の実現のため、食の重要性を理解し、健康な食を実践できるよう、バランスの良い食事や家族と一緒に食事をする共食の重要性などについての講座を実施する。

<令和元年度実績>

- ・食育出前講座（19回実施 598名参加）
- ・企業・職場給食と協働した食育の普及（14回実施 1,254名参加）

事業名	⑤ 親子職場体験バスツアー
担当課	健康福祉部 高齢福祉課
令和元年度事業費	2,200千円

<事業概要>

将来の介護分野の人材確保に向けた取組として、実際に福祉の仕事を体験し、福祉の仕事のやりがいや魅力を知ってもらうことを目的に、県内の小学生高学年・中学生とその保護者、及び教員を対象に施設までのバスツアーを開催する。

<令和元年度実績>

- ・バスツアー（9回実施 小中学生とその保護者及び教員116組259名参加）

事業名	⑥ 福祉のお仕事体験フェスタ
担当課	健康福祉部 高齢福祉課
令和元年度事業費	1,161千円

<事業概要>

将来の介護分野の人材確保に向けた取組として、小中学生とその保護者を対象に、福祉・介護の仕事を体験してもらい、やりがいや魅力を感じてもらうことを目的に福祉の仕事体験を実施する。

1 親としての学びを支援する学習の機会の提供

<令和元年度実績>

- ・体験フェスタ（2会場で開催 653名参加）

事業名	⑦ 父親の子育て参画促進事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	823千円

<事業概要>

父子手帳を配布し、父親の子育ての普及啓発を行う。

<令和元年度実績>

- ・父親の育児参画を促進し、母親の育児負担や不安を軽減するため、父子手帳17,000冊を作成し、市町村窓口において母子手帳とあわせて配布
- ・父子手帳を両親学級等で活用

事業名	⑧ イクメン・家事メン拡大促進事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	404千円

<事業概要>

男性が主体的に家事、育児、介護等に参画できる環境づくりを推進するための講座を実施

<令和元年度実績>

- ・家事メン養成講座（49名参加）

事業名	⑨ 建設業界等と連携した人材育成・獲得プロジェクト事業
担当課	商工労働部 労働雇用課
令和元年度事業費	870千円（「親子しごと体験教室」に係る事業費は635千円）

<事業概要>

国際たくみアカデミーが建設業界等関係団体と協力し、親子でものづくりを体験する「親子しごと体験教室」を実施する。

<令和元年度実績>

- ・親子しごと体験教室（小学生及び中学生の親子145名参加）

以下載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑩ 家庭教育支援推進事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進③」 (P.17)に記載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

1 親としての学びを支援する学習の機会の提供

事業名	⑪ 女性健康支援センター事業 * 「5 相談体制の整備⑥」(P.27) に記載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課

事業名	⑫ 地域の魅力再発見食育推進事業 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑨」 (P.19) に記載
担当課	農政部 農産物流通課

2 親になるための学びの推進【条例第12条】

事業名	① 食育推進連携事業（大学と協働した食育事業）
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	4,071 千円

<事業概要>

心身の健康増進と豊かな人間形成の実現のため、若い世代に対して適正体重の維持や朝食を毎日食することなど望ましい生活習慣の確立等を大学等と協働して推進する。

<令和元年度実績>

- ・大学生、専門学校生を対象とした食育講座や大学祭等を活用した食育展示の実施
- ・大学生と協働した食育活動（12回実施 1,839名参加）

事業名	② ライフデザインを考える啓発プロジェクト事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課
令和元年度事業費	1,766 千円

<事業概要>

若いうちから就労、結婚、出産、子育て等の人生設計を前向きに考えてもらえるよう、中学生、高校生向けにライフデザイン啓発を実施する。

<令和元年度実績>

- ・ライフデザインを考える啓発冊子の作成・配付（高校生向け 23,000冊）
- ・中学校、高等学校でのライフデザイン講座（5回開催）

事業名	③ 若い世代へのライフデザイン啓発
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課
令和元年度事業費	739 千円

<事業概要>

若い世代に、結婚、出産・育児、就業などの人生設計について考える機会を提供するため、大学、企業等に講師を派遣し、ライフデザイン講座を開催する。

<令和元年度実績>

- ・大学・企業等でのライフデザイン講座（5回開催）

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	④ 家庭教育プログラムの普及 * 「1 親としての学びを支援する学習の機会の提供①」 (P.7) に記載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

2 親になるための学びの推進

事業名	⑤ 父親の子育て参画促進事業 * 「1 親としての学びを支援する学習の機会の提供⑦」 (P.9) に記載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
事業名	⑥ イクメン・家事メン拡大促進事業 * 「1 親としての学びを支援する学習の機会の提供⑧」 (P.9) に記載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
事業名	⑦ 女性健康支援センター事業 * 「5 相談体制の整備⑥」(P.27) に記載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課
事業名	⑧ 地域の魅力再発見食育推進事業 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑨」(P.19) に記載
担当課	農政部 農産物流通課
事業名	⑨ 岐阜県道徳教育振興会議 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑮」(P.22) に記載
担当課	教育委員会 学校支援課
事業名	⑩ 幼児教育総合推進事業 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑯」(P.22) に記載
担当課	教育委員会 学校支援課
事業名	⑪ G I F U食のマイスタープロジェクト事業 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑰」(P.23) に記載
担当課	教育委員会 体育健康課

3 人材の養成等【条例第13条】

事業名	① 岐阜県家庭の教育力向上事業（家庭教育学級リーダー研修）
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	868 千円

<事業概要>

各学校や幼稚園、保育園等で行われる家庭教育学級を推進する人材を養成することを目的に、県内6地域ごとにリーダー研修会を実施する。

<令和元年度実績>

- ・リーダー研修会参加者数
小・中学生対象 1,242名、乳幼児対象 652名
- ・小中学校で開催された家庭教育学級講座参加率
小学校：71.6%、中学校：58.4%

事業名	② 地域づくり人材養成講座
担当課	環境生活部 県民生活課
令和元年度事業費	406 千円

<事業概要>

自ら地域づくり活動を実践できる人材を養成するため、県と市町村が連携して講座を実施する。

<令和元年度実績>

- ・2市町と連携して講座を実施
瑞浪市 令和元年8月～令和2年1月 全2回
垂井町 令和元年11月～令和2年1月 全3回

事業名	③ 地域における情報モラル指導力の向上
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	831 千円

<事業概要>

青少年の育成指導の役割を担う青少年育成支援者・PTA役員等が、身近な地域で勉強会の企画や家庭へのアドバイスができるよう、指導者用教材を作成・配付するとともに、依頼に応じて研修会等で講演を実施する。

<令和元年度実績>

- ・指導者用教材（1000枚作成 青少年育成支援者やPTA役員等に配布）
- ・研修会での講演（1回実施 対象者40人）

事業名	④ 食育推進連携事業（食育指導者研修会、食育ボランティア研修会）
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	4,071 千円

<事業概要>

心身の健康増進と豊かな人間形成の実現のため、保育士や幼稚園教諭、地域の食育活動実践者である食育推進ボランティア等を対象に、食と健康に関する正しい知識の習得と、日常生活の中で食育に取り組むことができるよう研修会を開催する。

<令和元年度実績>

- ・食育指導者研修会（11 回実施 645 名参加）
- ・食育ボランティア研修会（14 回実施 444 名参加）

事業名	⑤ ペアレントトレーニング指導者養成研修事業
担当課	健康福祉部 障害福祉課
令和元年度事業費	117 千円

<事業概要>

子どもの適切な行動の促進及び不適切な行動の改善を目的として、保護者や養育者が行動理論に基づいた環境調整や子どもへの肯定的な働きかけの方法を学ぶ「ペアレント・トレーニング」を身近な地域で実施できるよう、その指導者を養成する研修を実施する。また、実施市町村に対しては、企画運営に係るアドバイスやフォローアップを行う。

<令和元年度実績>

- ・指導者養成研修（中津川市において 5 回開催）
 - 【前半】県発達障害者支援センター職員が発達障がい児の家族 12 名（夫婦 1 組含む）に対してペアレントトレーニングを実施する様子を受講者 35 名が観察し、その手法を学んだ。
 - 【後半】受講者全員で、前半のトレーニングの内容を振り返り、グループ展開、行動理論を学び、事例検討会を行った。
- ・ペアレントトレーニング研修実施市町村の療育機関等への運営に関する指導・助言と平成 30 年度までの指導者養成研修受講者へのフォローアップを行った。
（岐阜市・大垣市・各務原市・笠松町・神戸町・中津川市・恵那市・可児市・飛騨市）

事業名	⑥ イクボス拡大促進事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 女性の活躍推進課
令和元年度事業費	5,420 千円

<事業概要>

- (1) 職場環境改善にむけた経営者の意識改革を目的とした講座及び岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業経営者等を講師とした学習会を開催する。
- (2) 企業が開催する女性の活躍推進や男性の家事育児参画促進を目的とした研修に講師を派遣する。

<令和元年度実績>

- ・イクボス養成講座 (1 回開催)
- ・イクボス養成学習会 (2 回開催)
- ・企業 (団体等) 内研修開催 (35 社で開催)

事業名	⑦ 男女共同参画推進サポーター支援事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	43 千円

<事業概要>

男女共同参画推進サポーター間の情報共有を図り、各団体の活動の一助とするための、交流会を開催する。

<令和元年度実績>

- ・サポーター交流会 (2 回開催 延べ 43 名参加)

事業名	⑧ 児童虐待防止対策等事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	566 千円

<事業概要>

地域の身近な相談機関である市町村職員等が、虐待リスクのある保護者に対し適切な援助・指導ができるようにするため、家庭支援技術の向上を目指した研修会を開催する。

<令和元年度実績>

家庭支援技術向上研修を実施 (11 月開催 62 名参加)

事業名	⑨ 高校生防災アクション
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	0 千円

<事業概要>

生徒が防災に関する知識や技術を身に付け、災害が起きても自らの命を守り切ることができるようにするための防災や減災のアクションプランを立て、生徒の様々な学習活動に位置付けて実施する。

<令和元年度実績>

- ・高等学校、特別支援学校で防災・減災に係る取組を計画、実施した。

3 人材の養成等

- ・実施報告書を基に優れた取組を実施した4校を選び表彰した。

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑩ 家庭教育支援推進事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ③」(P. 17) に記載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

事業名	⑪ 地域の魅力再発見食育推進事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑨」(P. 19) に記載
担当課	農政部 農産物流通課

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 【条例第14条】

事業名	① 岐阜県家庭の教育力向上事業（企業内家庭教育研修）
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	868 千円

<事業概要>

地域社会全体で子育てを推進するために、企業・事業所と協力して、子育て中、またはこれから親になる従業員や管理職を対象にした企業内家庭教育研修を支援する。

<令和元年度実績>

- ・企業内家庭教育研修（38 事業所 39 講座開催 1,487 名参加）
- ・企業のニーズに応じて研修会のコーディネートを行った。県事務所職員が講師を務めたり、関係機関の講師を紹介したりした。
- ・実施内容を県のホームページや家庭教育支援担当者等への通信を通して広報した。

事業名	② 家庭教育推進専門職の設置
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	19,722 千円

<事業概要>

県庁及び5 県事務所に家庭教育推進専門職を設置し、家庭教育支援体制の充実、家庭教育支援の機運醸成を図る。

<令和元年度実績>

家庭教育推進専門職は次の業務に従事した。

- ・家庭教育リーダー研修会の運営
- ・地区家庭教育推進会議の運営
- ・企業内家庭教育研修の支援
- ・市町村の家庭教育支援への指導・助言
- ・「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の啓発

事業名	③ 家庭教育支援推進事業
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	2,826 千円

<事業概要>

家庭教育支援員の配置を通して家庭教育支援体制の強化を図ったり、人材育成事業を行って地域に根ざした家庭教育支援基盤を構築する。また、配置市町の実践を県内に広める。

<令和元年度実績>

5 市町に家庭教育支援員が配置された。5 市町の実践を地区家庭教育推進会議、市町村家庭教育担当者会において県内に広めた。

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

事業名	④ 社会人権学習資料の作成
担当課	環境生活部 人権施策推進課
令和元年度事業費	353 千円

<事業概要>

学校でどのような人権教育がなされているかを理解することで、家庭や地域において、人権尊重の重要性、必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として、小学校・中学校の教科書で取り上げられている人権に関する記述をリーフレットとしてまとめ、保護者等に配布する。

<令和元年度実績>

- ・作成部数：44,000 部

県内小学6年生、中学2年生の児童・生徒の保護者等を対象に配布した。(特別支援学校含む)

事業名	⑤ 食育推進連携事業（食育推進体制整備）
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	4,071 千円

<事業概要>

県民自ら食育を実践できるよう、関係機関・団体により食育の推進に関する事項について情報交換や協議を行い、効果的な施策の推進及び関係機関や団体との連携強化を図る。

<令和元年度実績>

- (1) 岐阜県食育推進会議（1回開催 21名出席）
- (2) 圏域食育推進会議（5回開催 計100名出席）
- (3) 岐阜県食育推進連絡会議（1回開催 26名出席）
- (4) 圏域青年期層食育担当者会議（5回開催 計82名出席）

事業名	⑥ ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	22,541 千円

<事業概要>

- (1) ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録拡大に取り組む。
- (2) エクセレント企業認定数の拡大と、学習会や相談会の開催等を通して既認定企業の更なるブラッシュアップを支援する。

<令和元年度実績>

- (1) 「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業」(3,505社登録(令和元年度末))
- (2) 「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」(147社認定(令和元年度末))

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

事業名	⑦ 子ども参観日の開催促進
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

子どもが親の職場を見学し、仕事内容を知ることで、親子で仕事と家庭のあり方を考えるきっかけを提供する「子ども参観日」の実施拡大を促進する。

<令和元年度実績>

子ども参観日の開催を、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録の登録項目及び岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定評価項目に取り入れ、企業における子ども参観日の実施の促進を図った。

- ・子ども参観日（978社実施）

事業名	⑧ 孫育てガイドブックの作成・配布
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課
令和元年度事業費	460千円（広報課予算）

<事業概要>

祖父母世代が知っておくべき今どきの育児方法をまとめた「孫育てガイドブック」を作成・配布する。

<令和元年度実績>

- ・「孫育てガイドブック」を祖父母世代を中心に配付した。（7000部増刷）

事業名	⑨ 地域の魅力再発見食育推進事業
担当課	農政部 農産物流通課
令和元年度事業費	2,700千円

<事業概要>

地域で実施される食育推進事業（農林漁業体験や食文化継承のための取組、食育推進・食文化継承リーダーの育成・活動促進など）を支援し、食や農畜水産物に対する理解を深める場を提供する。

<令和元年度実績>

- ・3団体が事業を実施。
- ・県民や食育に関わる関係機関等の情報共有・連携により食育推進体制を構築した。
- ・食育推進リーダーの育成や活動促進を図るとともに、農林漁業体験機会の提供等を通じて食育の推進を図った。

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

事業名	⑩ あったかい言葉かけ運動の推進
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	680 千円（うち広報課予算 500 千円）

<事業概要>

各教育事務所が運営する年2回（合計12回）の生徒指導連携強化委員会でいじめの未然防止を啓発する。特に、「あったかい言葉かけ運動」「居場所と絆づくり交流会」「安心ネット啓発運動」の3つの共通の取組を通して、「いじめをしない、させない、許さない」を合言葉として、思いやりのある温かい人間関係づくりを地域ぐるみで推進する。

<令和元年度実績>

- (1) 「あったかい言葉かけ運動」に係る作品募集（91,949点）
- (2) 県内の学校へのチラシ、ポスター等の配布
- (3) Web ページ等での広報活動
- (4) 各地域で行われる年2回（合計12回）の県民運動推進会議でいじめの未然防止を啓発した。
- (5) 小学生・中学生・高校生と大人による「居場所と絆づくり交流会」を実施し意見交換を行った。

事業名	⑪ いじめ・不登校等未然防止事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	2,402 千円

<事業概要>

いじめや不登校の問題を対処することを目的として、「いじめ・不登校等未然防止アドバイザー」を県内の公立学校に派遣し、自己肯定感及び自己有用感を高めるための取組や、「授業づくり」「集団づくり」を核とした取組を通して、いじめや暴力行為等の問題行動及び不登校の未然防止を図る。

<令和元年度実績>

- ・ 県内小中学校 22 校にアドバイザーを派遣するとともに、該当校において「魅力ある学校づくり」を実践することによって不登校やいじめの未然防止を推進。
- ・ 児童生徒の暴力行為、不登校、交通事故、ネット問題などが心配される公立学校に対し、事案を予防するために外部の専門家を派遣し、講演会や研修会などを開催。

事業名	⑫ 学校安全総合支援事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	2,036 千円

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

<事業概要>

学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考にしながら組織的取組と外部専門家の活用を進めるとともに、各自治体内での国私立を含む学校間の連携を促進する取組を支援する。

<令和元年度実績>

モデル地域として、御嵩町を選定。学識経験者や地域で活躍する防災士等の協力を得て、幼稚園児、小・中・高等学校の児童生徒を対象として防災に係る事業を軸として安全教育を展開した。

事業名	⑬ 学校安全支援事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	2,015 千円

<事業概要>

- (1) 講師派遣事業：学校に派遣された外部講師が、防災や防犯、交通安全の各分野について、自分の命を自分で守るための方策等を指導・助言する。
- (2) 学校安全講習会：専門家による講話、国からの周知事項、各校の先進的取組の紹介
- (3) 職員研修：災害時における支援や避難所運営などに興味関心がある職員に対し、専門知識や実践的な対応能力の育成を図る。

<令和元年度実績>

- (1) 災害安全について 99 校、交通安全について 18 校へ外部の専門家や防災士等を学校防災指導者として派遣し、学校の防災力向上を図った。
- (2) 管理職（教頭）を対象に学校安全について県内 5 会場で講習会を実施、特に交通安全・生活安全について重点的に研修を行った。
- (3) 防災や避難所運営等に関する専門的な知識や実践的な対応能力を備える職員向け研修を 6 回実施した。

事業名	⑭ 防災教育月間
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	0 千円

<事業概要>

県内全ての公立幼・小・中・義・高・特別支援学校において、学校・地域等の実情に応じて、より実践的な命を守る訓練や、災害・防災に関する学習、危機管理マニュアルの検証等を行い、児童生徒等、教職員の防災意識の高揚と防災教育の推進・充実を図る月間とする。

<令和元年度実績>

- ・令和元年 9 月 1 日～30 日 実施

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

事業名	⑮ 岐阜県道徳教育振興会議
担当課	教育委員会 学校支援課
令和元年度事業費	463 千円

<事業概要>

家庭・地域社会における豊かな心を育む取組の普及啓発、道徳教育の充実を図る。

<令和元年度実績>

【会議開催回数】 年 3 回

【委員の構成】 13 名

学識経験者、企業関係者、市町村教委関係者、社会教育関係者、保護者代表者（幼小中高）、学校関係者（幼小中高）

【主な取組】

(1) 「1 家庭 1 ボランティア」運動を県民運動として展開し、家庭・地域社会における豊かな心を育む取組の普及啓発を図った。具体的な取組として、「1 家庭 1 ボランティア」チャレンジカードの配布、「1 家庭 1 ボランティア」運動啓発チラシ・ポスターの配布などを行った。

(2) 岐阜県道徳教育振興会議実践協力校を位置付け、「特別の教科 道徳」が道徳教育の要としての役割を果たすよう工夫改善するとともに、家庭・地域社会との連携を図りつつ道徳教育の一層の充実を図った。

小学校：揖斐川町立揖斐小学校

中学校：土岐市立駄知中学校

高等学校：県立大垣西高等学校

事業名	⑯ 幼児教育総合推進事業
担当課	教育委員会 学校支援課
令和元年度事業費	914 千円

<事業概要>

第 2 次岐阜県幼児教育アクションプラン（H28.3 月末策定）において、重点的に取り組む内容（3 つの深まる）として子育て支援ネットワーク体制の確立と家庭教育を通じた乳幼児からの子育て支援を掲げ、その実践・普及を図る。

<令和元年度実績>

【主な取組】

環境生活政策課と連携し、県内の幼稚園・保育所・認定こども園において、「みんなで子育てⅡ～家庭教育プログラム（乳幼児編）～」を活用した家庭教育学級の実施を支援した。

【実践成果の収集と普及方法】

- ・研究団体との連携により、実践事例及び成果を県内に広めた。
- ・環境生活政策課と連携協力し、実践状況を把握した。

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

事業名	⑰ G I F U食のマイスタープロジェクト事業
担当課	教育委員会 体育健康課
令和元年度事業費	1,500 千円

<事業概要>

- ・県内公立小学校及び義務教育学校（前期課程）・特別支援学校 6 年生全員に「家庭の食育マイスター」を委嘱し、児童を中心とした家庭内の食育を推進する。
- ・「中学生学校給食選手権」を開催し、学校給食の献立作成を通して栄養バランスのよい食事の考え方や調理方法を学び、実践力を育成する。
- ・「高校生食育リーダー」として、外部の食の専門家を希望する高校へ派遣し、ライフスタイルに応じた食生活を実践する力を育成する。

<令和元年度実績>

- ・「家庭の食育マイスター」の委嘱 18,362 名
- ・「中学生学校給食選手権」 38 校参加
- ・「高校生食育リーダー」 10 校派遣 12 講座開催

事業名	⑱ スマートフォン等の普及を踏まえた児童の犯罪被害等を防止するための情報モラル教室
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	745 千円

<事業概要>

- ・学校や教育委員会と連携した、児童・生徒への情報モラル講話を実施する。
- ・児童生徒のインターネット利用を適切に把握、管理する立場である保護者に対して、進学時の保護者説明会等、多くの保護者が集まる学校行事等を有効に活用し、児童の犯罪被害や非行を防止するための対策等について啓発活動を実施する。
- ・大学生ボランティアを活用した産官学連携による情報モラル教育を実施する。

<令和元年度実績>

- ・児童生徒に対し、情報モラル教室を実施した。(277 回開催)
- ・保護者等に対し、フィルタリングや家庭内のルール作りの重要性を訴える講話を実施した。
- ・携帯電話販売店等に対する指導、要請を実施した。(対象店舗 206 店)
- ・大学生ボランティアを活用した産官学連携による情報モラル教育を実施した。

事業名	⑲ 少年非行防止タウンミーティング
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	0 千円

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

<事業概要>

次代の担い手である中学生を対象に、高校生、保護者及び少年警察ボランティアの協力の下、少年の非行防止に向けたタウンミーティングを県下全域で開催し、中学生の段階からモラルの大切さを考えさせるなど、規範意識の醸成を図る。

<令和元年度実績>

中学生を中心に、高校生、少年警察ボランティア、PTA、学校関係者等が参加し、少年の身近な問題をテーマに意見交換を行うことで行動やモラルの大切さを考えさせ、規範意識啓発活動を推進した。(34回実施、中学生4,976名、高校生1,210名、少年警察ボランティア等、総勢8,431名が参加)

事業名	⑩ 岐阜県警察スクールサポーター制度
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	50,791千円

<事業概要>

スクールサポーター兼地域安全活動アドバイザーを本部及び県下の警察署に配置し、子どもの安全、安心の確保と非行防止、健全育成にむけた活動を推進する。

<令和元年度実績>

警察本部(2名)及び県下14警察署(各1名)に、警察官OBを岐阜県警察スクールサポーター兼地域安全活動アドバイザーとして配置し、以下の取組を行った。

- ・通学路のパトロールや学校施設の安全点検
- ・校内暴力、非行防止のための学校訪問、助言指導
- ・非行防止教室や不審者侵入訓練等犯罪被害防止教室の支援
- ・不審者情報等地域安全情報の把握と提供等

事業名	⑪ 少年警察ボランティアによる少年の活動機会の提供と居場所づくりの推進
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	4,189千円

<事業概要>

少年補導員(一部少年指導委員を兼務)を委嘱して、警察職員と連携した地域ぐるみの少年の立ち直りに向けた少年の居場所づくり活動を推進する。

<令和元年度実績>

少年補導員800名(少年指導委員兼務79名)を委嘱して、各警察署と連携した農業体験、スポーツ活動、ソーラン踊り、料理体験等を通じた少年の立ち直り支援に向けた「少年の居場所づくり活動」を実施した。

4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	㉒ 家庭の日啓発図画・ポスターの募集 * 「8 家庭教育を实践する日③」(P.42)に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	㉓ 家庭の日の取組発表 * 「8 家庭教育を实践する日④」(P.43)に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	㉔ (公社) 岐阜県青少年育成県民会議の活動支援 * 「7 団体活動の促進②」(P.39)に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	㉕ 女性健康支援センター事業 * 「5 相談体制の整備⑥」(P.27)に掲載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課

5 相談体制の整備等【条例第15条】

事業名	① 消費生活相談
担当課	環境生活部 県民生活課
令和元年度事業費	1,995 千円

<事業概要>

インターネット・スマートフォンの普及によるワンクリック詐欺、架空請求詐欺や、高齢者等が被る悪質商法被害など、契約商品、サービスに関する消費生活上のトラブルに対する相談を受け付け、消費生活相談員が解決に向けたアドバイスを行う。

<令和元年度実績>

- ・開設日：月曜日から金曜日 8時30分から17時まで
土曜日 9時から17時まで
年末年始及び祝日を除く
- ・年間相談受付（5,105件）

事業名	② 法律相談事業
担当課	環境生活部 県民生活課
令和元年度事業費	655 千円

<事業概要>

行政に関する相談や、日常生活の悩みごと・困りごと等、県民相談全般に関する電話・来訪等の相談のうち、法的に複雑で専門家によるアドバイスが必要な事案について、事前申込制による「法律相談の日」を設置し、県弁護士会所属の弁護士が面談を実施する。

<平成元年度実績>

- ・開催日：毎月 第1・3水曜日（年間24回開催）
- ・年間相談受付（157件）

事業名	③ 青少年SOSセンターの運営
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	14,762 千円

<事業概要>

いじめ、不登校、友人・親子関係等の様々な悩みを持つ青少年やその保護者等に対し、「フリーダイヤル・365日・24時間体制」で相談を受け付ける。

<令和元年度実績>

- ・年間相談受付（1,615件）

事業名	④ こころのダイヤル119
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	2,991 千円

<事業概要>

こころの健康に関する問題について、精神保健福祉センター職員が相談に対応する。

<令和元年度実績>

- ・運営主体：精神保健福祉センター
- ・開設日：平日（土日・祝日を除く）10時～12時・13時～14時
- ・年間相談受付（6,065件）

事業名	⑤ 男女共同参画・女性の活躍支援センター運営事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	7,392 千円

<事業概要>

専門相談員が電話で、人間関係・家族関係、男性の悩み、LGBTの方やその周囲の方々の悩みの相談に対応する。また、弁護士やカウンセラーが面接にて、法律に関すること、女性が抱える悩みの相談に対応する。

<令和元年度実績>

- ・開設日：（電話相談）一般電話相談 毎週月～木曜日、第1・3土曜日
男性専門相談 第2・4金曜日
LGBT専門相談 第3金曜日
（面接相談）法律相談 第2・4水曜日
こころの相談（女性限定）第1・3木曜日
- ・年間相談受付（1,673件）

事業名	⑥ 女性健康支援センター事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子育て支援課
令和元年度事業費	339 千円

<事業概要>

生涯を通じて、女性が自らの健康状態を的確に把握し、自己管理できるよう相談窓口を設置するとともに、学校教育現場と連携した健康教育の実施や関係機関との連絡会議を開催する。

<令和元年度実績>

- ・相談窓口（各保健所）の相談受付（延べ53件）
- ・いのちの教育の出前講座（各保健所）（17回実施 900人参加）
- ・地域関係機関連携会議（4回開催）

事業名	⑦ 児童家庭支援センター運営事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	74,160 千円

<事業概要>

児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに対応する児童家庭支援センターの運営費を補助する。

<令和元年度実績>

- ・対象：県内5か所の児童家庭支援センター
 - 子ども家庭支援センターぎふ・はこぶね（岐阜市）
 - 大野子ども家庭支援センターこころ（大野町）
 - 子ども家庭支援センターとも（関市）
 - 子ども家庭支援センター麦の穂（中津川市）
 - ひだ子ども家庭支援センターばすてる（高山市）

事業名	⑧ ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	21,154 千円

<事業概要>

ひとり親家庭等の自立をめざし、個々の家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ、適切な助言を行い、就業や養育費に関する相談から就業情報の提供に至るまでの一貫した就業・自立支援サービスを提供する。

<令和元年度実績>

ひとり親等の家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ、適切な助言を行い、就業相談の実施、ひとり親等の自立支援を行った。

- ・就業相談受付（223件）
- ・就業支援講習会・セミナー（36回実施）

事業名	⑨ スクールカウンセラー設置事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	274,092 千円

<事業概要>

- (1) 学校にスクールカウンセラーやスクール相談員を配置して、学校の教育相談体制の充実と、教職員の教育相談に関する資質向上を図る。
- (2) 各教育事務所にスーパーバイザーを配置し、スクールカウンセラーの資質のさらなる向上を図る。

<令和元年度実績>

県内全中学校区、公立高等学校、公立特別支援学校にスクールカウンセラーを、98 中学校区にスクール相談員を配置して、学校の教育相談体制の充実と教職員の教育相談に関する資質向上を図った。

各教育事務所にスーパーバイザーを配置し、研修会での指導を行うとともに、スクールカウンセラーとの面談を実施することによりスクールカウンセラーの資質のさらなる向上を図った。

事業名	⑩ スクールソーシャルワーカー活用事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	15,066 千円

<事業概要>

学校だけでは解決の困難な事例に対応するために、スクールソーシャルワーカーや暴力行為等防止支援員を配置し、学校の要請に応じて活用できる体制を整える。

スーパーバイザーを配置し、スクールソーシャルワーカーに指導・助言を行うことでスクールソーシャルワーカーの資質向上を図るとともに、学校におけるスクールソーシャルワーカーの効果的な活用を広める。

<令和元年度実績>

県内 6 つの教育事務所にスクールソーシャルワーカーを、学校安全課に暴力行為等防止支援員を配置し、学校の要請に応じて活用できる体制を整えた。

学校安全課にスーパーバイザーを配置し、スクールソーシャルワーカーに指導・助言を行うことで、スクールソーシャルワーカーの資質向上を図るとともに、学校におけるスクールソーシャルワーカーの効果的な活用を広めた。

事業名	⑪ 教育相談業務専門職等設置事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	23,969 千円

<事業概要>

いじめ問題電話相談業務専門職を総合教育センターに、教育相談業務専門職を各教育事務所に配置し、いじめ・不登校等の悩みを持つ児童生徒・保護者への教育相談の充実を図る。

<令和元年度実績>

- ・総合教育センターにおける電話相談 1,948 回
- ・教育事務所における教育相談 560 回
(電話相談 546 回、面接相談 13 回、出張相談 1 回)

事業名	⑫ 子供SOS24電話相談事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	4,268千円

<事業概要>

いじめ等の電話相談に夜間、休日、祝日も含め24時間体制で対応するため、電話相談員を配置し、相談者の気持ちを受け止め、悩み等の解決を図る。

<令和元年度実績>

電話相談回数：1,643回（平日昼間795回、夜間及び休日・祝日848回）

事業名	⑬ 適応指導教室設置事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	471千円

<事業概要>

不登校の状態にある高等学校段階の生徒等に対して、学校や家庭以外の居場所として、岐阜県総合教育センター内の適応指導教室において、生徒一人一人の心に寄り添いながら将来の社会的自立に向けたきめ細かな支援を行う。

<令和元年度実績>

適応指導教室の相談（電話163回、面接436回、出張18回）は、多くが高校生段階の「不登校」に関する相談であった。入室生は、学校復帰を目指すケースや進路変更のケースがあり、それぞれの意向に沿った様々な支援を実施した。

事業名	⑭ 教育相談
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒及び保護者に教育相談を行い、その充実を図る。

総合教育センター及び各教育事務所において、電話相談、面接相談、出張相談を実施する。

<令和元年度実績>

- ・総合教育センターにおける教育相談回数 2,438回
（電話相談1,948回、面接相談472回、出張相談18回）
- ・教育事務所における教育相談回数 560回
（電話相談546回、面接相談13回、出張相談1回）

事業名	⑮ SNSを活用した相談体制構築事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	8,475 千円

<事業概要>

若者の多くが利用するSNSを活用し、県内の高校生・中学生段階の生徒を対象に相談を実施する。

<令和元年度実績>

下記期間に試行的に実施した。

- ・開設期間：令和元年 8 月 19 日～9 月 8 日

令和 2 年 3 月 16 日～3 月 27 日

開設時間：午後 5 時～9 時

- ・対象者：県内の中学生・高校生段階の本人
- ・相談実績：相談員による対応件数 334 件

事業名	⑯ スペシャリストサポート事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	8,013 千円

<事業概要>

問題行動の発生が予測される場合や、突発的な事件・事故が発生した場合等に、学校からの要請を受けて、専門的な知識を有する人材を派遣する。専門家から対応策についての助言及び関係機関との連携の支援を受け、指導体制の確立等を図る。

<令和元年度実績>

- ・派遣校（小・中・義・高・特・他 433 校）
- ・各専門家派遣（臨床心理士・精神科医・社会福祉士・大学教員・弁護士・その他）
- ・派遣理由（精神不安定・不登校・家庭問題・人間関係・いじめ・学習・進路）

事業名	⑰ 発達障がい児童生徒支援事業
担当課	教育委員会 特別支援教育課
令和元年度事業費	2,217 千円

<事業概要>

学校や幼稚園等からの要請により、発達障がいに係る個別の相談やケース会議における助言者、研修会の講師として専門家（医師、臨床心理士、大学教員等）を派遣し、発達障がいのある児童生徒に対して、適切な指導、支援を行うことができるようにする。

＜令和元年度実績＞

- ・派遣園校数（幼稚園 0 園、小学校 45 校、中学校 18 校、高校 17 校、特別支援 5 校）
- ・派遣者（臨床心理士 9 回、医師 10 回、大学教員 58 回、特別支援学校教員 3 回、実践家 5 回）

事業名	⑱ 特別支援学校のセンター的機能充実事業
担当課	教育委員会 特別支援教育課
令和元年度事業費	6,573 千円

＜事業概要＞

各地区の特別支援学校が地域の特別支援教育のセンターとして機能することにより、それぞれの発達段階における支援について専門的な見地から助言を行うとともに、就学前から高校卒業まで一貫した支援を行い、校種間の円滑な接続ができるようにする。

＜令和元年度実績＞

(1) 相談機能

医師、大学教員などの専門家や特別支援学校教員による相談指導や定期相談会を実施

(2) 研修機能

医師、大学教員、作業療法士などの専門家や特別支援学校教員を講師として、地域の学校や幼稚園等の教員向けの公開講座を実施

(3) 連携訪問機能

特別支援学校教員を市町村の連携協議会等に派遣することにより、地域の特別支援教育のセンターとしての機能を充実

事業名	⑲ 少年サポートセンター等推進事業
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	24,565 千円

＜事業概要＞

本部及び県下 5 地区の少年サポートセンター並びに警察署において少年相談に的確に対応するとともに、少年相談専門員の指導による少年相談担当者の資質の向上及び各種相談機関等との連携を深め、相談活動の充実強化を図る。また、農業体験やスポーツ交流等を通じた少年の居場所づくり活動を少年警察ボランティア等関係機関・団体と連携して実施、推進する。

＜令和元年度実績＞

- 相談
 - ・ヤングテレホンコーナー（本部少年サポートセンター）（56 件）
 - ・地区少年サポートセンター（591 件）
- 立ち直り支援活動（59 回実施 延べ 651 名の少年を含む 1,510 名参加）

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑳ 家庭教育支援推進事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ③」(P.17) に掲載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

事業名	㉑ 岐阜県警察スクールサポーター制度 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑳」(P.24) に掲載
担当課	警察本部 少年課

6 広報及び啓発【条例第16条】

事業名	① 人権啓発フェスティバル in ぎふ
担当課	環境生活部 人権施策推進課
令和元年度事業費	2,446千円

<事業概要>

人権尊重の理念に関する正しい理解と人権意識の普及高揚を図ることを目的とし、岐阜市内の大型商業施設において、親子等を対象にステージイベントを行いながら、県民から寄せられた身近にある心温まる話のパネル展示や啓発資料等の配布等、人権啓発イベントを実施する。

<令和元年度実績>

開催日・場所：12月7日（土）・商業施設（マーサ21）

参加人数：延べ2,845名

人権に関する啓発パネル展示やステージイベント等を通じて、親子を中心としたフェスティバル参加者に対し、家庭において親子等が人権について話し合えるきっかけを提供した。

事業名	② 食育推進連携事業（食育の日普及啓発）
担当課	健康福祉部 保健医療課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

「家族そろって食卓を囲む」などを実践することで、日頃の食生活を見直す機会とするため、「食育の日」（毎月19日）の普及啓発活動等を実施する。また、毎年6月の「食育月間」については、関係者との緊密な連携・協働を図りつつ、食育推進運動を重点的かつ効果的に実施する。

<令和元年度実績>

市町村や関係団体等により、食育の日や食育月間にあわせ、講演会や食育教室の実施、広報誌やのぼり旗など各種普及媒体を活用し、広く啓発を実施した。

事業名	③ ぎふっこ応援ポジティブキャンペーン事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	3,960千円（広報課予算）

<事業概要>

新聞により、結婚、出産、子育てに関する情報を発信する。

<令和元年度実績>

新聞による情報発信（6回）

事業名	④ 女性の活躍推進に向けた情報発信事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	16,032 千円

<事業概要>

岐阜で活躍する女性、育児・家事・介護等に参画する男性・企業等の優良取組事例を県の広報媒体を利用し、情報発信する。

<令和元年度実績>

- ・岐阜で活躍する女性の取材・広報（43 人実施）
- ・家事・育児・介護等に参画する男性の取材・広報（10 人実施）
- ・企業等の優良取組事例調査・共有（10 社実施）

事業名	⑤ オレンジリボン・キャンペーン事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	3,055 千円

<事業概要>

11 月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、オレンジリボン・キャンペーン事業を展開する。

<令和元年度実績>

- ・「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止講演会」（11 月 2 日開催 参加者約 100 名）
- ・F C岐阜との連携による啓発（10 月 20 日実施）
- ・県内全小・中・高等学校の児童生徒に対し、「相談窓口 189 番カード」を配布し、児童相談所全国共通ダイヤル 189 番を周知（7 月実施）
- ・各子ども相談センターと市町村が連携した街頭啓発活動（11 月、6 回実施）
- ・県図書館と連携した「児童虐待防止関連図書フェア」（11 月 1 日～11 月 30 日実施）

事業名	⑥ 女性に対する暴力をなくす運動
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	0 千円

<事業概要>

「女性に対する暴力をなくす運動」の期間において、女性相談センターで作成した配布物を配布することで、女性の保護について地域社会の理解を深めるための啓蒙活動を行うとともに、女性相談に関する関係機関をPRする。

<令和元年度実績>

啓発活動（11 月 12 日 商業施設（マーサ 21）で実施）

事業名	⑦ DV防止等普及啓発事業
担当課	健康福祉部子ども・女性局 子ども家庭課
令和元年度事業費	550 千円

<事業概要>

DV被害の早期発見や地域における被害者支援体制づくりに資するため、地域の会合等へDV問題の専門家を講師として派遣し、また、若年層に対するDV予防啓発のため、高校・大学等へ講師を派遣する。

<令和元年度実績>

- 講師派遣事業 ・派遣回数（15回）
 - ・派遣先 （短大1校、高等学校7校（8回）、特別支援学校1校、中学校4校、民生委員児童委員研修会（1回）

事業名	⑧ 学校教育ネット安全・安心推進事業
担当課	教育委員会 学校安全課
令和元年度事業費	2,438 千円

<事業概要>

岐阜県内の小中高等学校及び特別支援学校の児童生徒が、安全に安心してインターネットを利用することができる環境を整えるために、児童生徒が主に利用するサイト等のパトロールを行う。パトロール等を通して把握した県内の児童生徒の状況は、県内の児童生徒、保護者、教員に対する情報モラル啓発のためのリーフレットの作成に役立てる。

<令和元年度実績>

- (1) インターネット上の投稿について、ネットパトロールから得られた情報を生徒指導関係部署や当該学校に提供し、情報モラル教育に活用した。
- (2) 情報モラル啓発用リーフレット（21万部）を作成し、配布した。
（リーフレット作成費用は、人権施策推進課による）

事業名	⑨ 命の大切さを学ぶ教室
担当課	警察本部 広報県民課
令和元年度事業費	196 千円（うち再配当 164 千円）

<事業概要>

犯罪等による被害の深刻さや命の大切さに対する理解を社会に浸透させるため、次世代を担う中・高校生等に「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、被害者や被害者支援への理解や規範意識を高め犯罪抑止を図る。

<令和元年度実績>

中学校9校、高校等5校において開催し、6,619名が参加した。

事業名	⑩ 規範意識啓発活動事業（中学生によるMSJリーダーズ活動、高校生によるMSリーダーズ活動への支援）
担当課	警察本部 少年課
令和元年度事業費	537 千円

<事業概要>

各警察署の署長が「MS・MSJリーダーズの証」を規範意識啓発推進委員に交付。学校や教育委員会、関係機関・団体と連携し、中学生、高校生による社会参加活動、非行防止活動等、規範意識の向上に向けた各種活動（MSリーダーズ活動）を支援し、少年への規範意識の啓発を図る。

<令和元年度実績>

警察署長から「MS・MSJリーダーズの証」の交付を受けた中・高校生が警察職員、教育関係者、少年警察ボランティア等の支援の下、自主的に社会参加活動や非行防止活動に取り組むMSリーダーズ活動を実施した。

- ・高校生（MSリーダーズ）（110校 7,723名参加）
- ・中学生（MSJリーダーズ）（171校、7,793名参加）

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑪ 岐阜県家庭の教育力向上事業（「家庭教育を实践する日」の啓発） *「8 家庭教育を实践する日①」（P.42）に掲載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

事業名	⑫ 家庭の日普及啓発 *「8 家庭教育を实践する日②」（P.42）に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	⑬ 家庭の日啓発図画・ポスターの募集 *「8 家庭教育を实践する日③」（P.42）に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	⑭ 家庭の日の取組発表 * 「8 家庭教育を实践する日④」(P. 43) に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	⑮ (公社) 岐阜県青少年育成県民会議の活動支援 * 「7 団体活動の促進②」(P. 39) に掲載
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課

事業名	⑯ ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑥」(P. 18) に掲載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課

事業名	⑰ スマートフォン等の普及を踏まえた児童の犯罪被害等を防止するための情報モラル教室 * 「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑱」(P. 23) に掲載
担当課	環境生活部 環境生活政策課

7 団体活動の促進【条例第17条】

事業名	① 青少年団体への支援
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	1,191千円

<事業概要>

子どもの学校外活動の充実を図るため、青少年団体が実施する事業に要する経費の一部を補助する。

<令和元年度実績>

岐阜県子ども会育成連合会、日本ボーイスカウト岐阜県連盟、ガールスカウト岐阜県連盟に対して補助をした。

事業名	②（公社）岐阜県青少年育成県民会議の活動支援
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	4,576千円

<事業概要>

青少年育成県民運動を担う（公社）岐阜県青少年育成県民会議の活動に対して助成を行う。

<令和元年度実績>

（公社）岐阜県青少年育成県民会議の青少年育成事業等推進のため、運営費に対する助成を実施した。

- ・ 8月 3日 少年の主張岐阜県大会
- ・ 11月 11日 岐阜県青少年育成県民大会
(家庭の日啓発図画・ポスター入賞者表彰・家庭の日の取組発表を実施)

事業名	③ P T A（岐阜県高等学校 P T A 連合会）への支援
担当課	教育委員会 学校支援課
令和元年度事業費	974千円

<事業概要>

岐阜県高等学校 P T A 連合会が実施する事業に対して支援を行う。

<令和元年度実績>

- ・ 新入生の保護者に対し家庭教育啓発資料を配布した。
- ・ 子どもの自立力、強制力、自己実現力を育むための P T A 活動の在り方をテーマに P T フォーラム大会を開催し、家庭の教育力の向上を図った。
- ・ 東海地区高等学校 P T A 連合会岐阜大会の開催にあたり、経費の一部に対し補助金等による支援を行った。

事業名	④ P T A（岐阜県P T A連合会）への支援
担当課	教育委員会 学校支援課
令和元年度事業費	1,209 千円

<事業概要>

岐阜県P T A連合会が実施する事業に対して支援を行う。

<令和元年度実績>

- ・岐阜県P T A研究大会を開催し、子育てに関する研究・実践活動例を報告・研究し、家庭や地域における教育力の向上を図った。
- ・機関誌「わが子のあゆみ」を発行した。
- ・機関誌「岐阜県P T A」を発行した。

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑤ 地域づくり人材養成講座 *「3 人材の養成等②」(P. 13) に掲載
担当課	環境生活部 県民生活課

事業名	⑥ ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑥」(P. 18) に掲載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課

事業名	⑦ 子ども参観日の開催促進 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑦」(P. 19) に掲載
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課

事業名	⑧ 地域の魅力再発見食育推進事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進⑨」(P. 19) に掲載
担当課	農政部 農産物流通課

事業名	⑨ 少年警察ボランティアによる少年の活動機会の提供と居場所づくりの推進 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ②」(P.24)に掲載
担当課	警察本部 少年課

8 家庭教育を实践する日【条例第18条】

事業名	① 岐阜県家庭の教育力向上事業（「家庭教育を实践する日」の啓発）
担当課	環境生活部 環境生活政策課
令和元年度事業費	292千円（広報課予算）

<事業概要>

「家庭教育を实践する日」の具体的な取組として、家庭での約束づくりとその実践を通じて家族で話をする機会を増やす「話そう！語ろう！わが家の約束」運動を推進する。

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動推進のための啓発チラシを作成し、保護者に配布、県内施設に設置する。

<令和元年度実績>

「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の取り組み方法や、家庭教育の重要性について掲載したチラシ120,000枚を作成し、小学校1・4年生保護者、5歳児保護者、市町村家庭教育支援関係者、事業者等に配布した。

事業名	② 家庭の日普及啓発
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

家庭の絆を深め、社会全体で明るい家庭づくりを進めるため、「家庭の日」（「岐阜県家庭の日を定める条例」に基づき毎月第三日曜日）の普及啓発活動を実施する。

<令和元年度実績>

1月の「家庭の日普及実践強調月間」において、家庭の日啓発図画・ポスターの展示や、市町村広報誌への掲載等、市町村と協力した周知活動や地域での取組の支援を実施した。

事業名	③ 家庭の日啓発図画・ポスターの募集
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

「家庭の日」の普及・実践活動の一環として、県内の小・中学生を対象に、明るく豊かな家庭づくりの啓発にふさわしい図画・ポスターを募集し、優秀作品等を県内5圏域で展示啓発する。

<令和元年度実績>

- ・募集期間 5月～9月
- ・応募作品数：5000点 応募学校数：226校
- ・最優秀作品2点 優秀作品6点 入選作品40点
- ・展示期間 11月～1月
- ・県内巡回展示（安八町、瑞浪市、本巣市、美濃市、高山市、大野町、岐阜市）

事業名	④ 家庭の日の取組発表
担当課	環境生活部 私学振興・青少年課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

岐阜県青少年育成県民大会において、「家庭の日」の啓発活動の一環として、家族、地域・団体で取り組んでいる活動の取組発表や、啓発図画・ポスターの展示、入賞者の表彰を行う。

<令和元年度実績>

岐阜県青少年育成県民大会（開催日：11月17日（日） 会場：瑞浪市総合文化センター）

事業名	⑤ 「早く家庭に帰る日」（毎月8のつく日）の普及
担当課	健康福祉部子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課
令和元年度事業費	0千円

<事業概要>

県内企業のノー残業デーの実施や「早く家庭に帰る日（8のつく日）」の実施に向けて普及に努める。

<令和元年度実績>

「早く家庭に帰る日」の実施を、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録項目に取り入れ、企業での普及及び実施を推進（2,282社実施）

以下記載事業の事業費、事業概要及び実績は、最もあてはまる条文欄に記載してあります。

事業名	⑥ G I F U食のマイスタープロジェクト事業 *「4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進 ⑰」 (P.23) に掲載
担当課	教育委員会 体育健康課

V 令和元年度 家庭教育支援施策一覧

●で記した条文欄に事業概要や実績等を記載してあります（最もあてはまる条文）

	知事部局	教育委員会	警察本部
1 親としての学びを支援する学習の機会の提供 【条例第11条】	<p><環境生活部環境生活政策課> ●家庭教育プログラムの普及 ●在宅取組型の家庭教育学級の普及 ・家庭教育支援推進事業</p> <p><環境生活部県民文化局文化伝承課> ●子育て世代・子育て支援関係者への支援</p> <p><健康福祉部保健医療課> ●食育推進連携事業（食育出前講座、企業・職場給食と協働した食育の普及）</p> <p><健康福祉部高齢福祉課> ●親子職場体験バスツアー ●福祉のお仕事体験フェスタ</p> <p><健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●父親の子育て参画促進事業 ●イクメン・家事メン拡大促進事業</p> <p><健康福祉部子ども・女性局子育て支援課> ・女性健康支援センター事業</p> <p><商工労働部労働雇用課> ●建設業界等と連携した人材育成・獲得プロジェクト事業</p> <p><農政部農産物流通課> ・地域の魅力再発見食育推進事業</p>		
2 親になるための学びの推進 【条例第12条】	<p><環境生活部環境生活政策課> ・家庭教育プログラムの普及</p> <p><健康福祉部保健医療課> ●食育推進連携事業（大学と協働した食育事業）</p> <p><健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ・父親の子育て参加促進事業 ・イクメン・家事メン拡大促進事業</p> <p><健康福祉部子ども・女性局子育て支援課> ●ライフデザインを考える啓発プロジェクト事業 ●若い世代へのライフデザイン啓発 ・女性健康支援センター事業</p> <p><農政部農産物流通課> ・地域の魅力再発見食育推進事業</p>	<p><学校支援課> ・岐阜県道徳教育振興会議 ・幼児教育総合推進事業</p> <p><体育健康課> ・G I F U食のマイスタープロジェクト事業</p>	
3 人材の養成等 【条例第13条】	<p><環境生活部環境生活政策課> ●岐阜県家庭の教育力向上事業（家庭教育学級リーダー研修） ・家庭教育支援推進事業</p> <p><環境生活部県民生活課> ●地域づくり人材養成講座</p> <p><環境生活部私学振興・青少年課> ●地域における情報モラル指導力の向上</p> <p><健康福祉部保健医療課> ●食育推進連携事業（食育指導者研修会、食育ボランティア研修会）</p> <p><健康福祉部障害福祉課> ●ペアレントトレーニング指導者養成研修事業</p> <p><健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●イクボス拡大促進事業</p>	<p><学校安全課> ●高校生防災アクション</p>	

	知事部局	教育委員会	警察本部
	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画推進サポーター支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課> ●児童虐待防止対策等事業 <ul style="list-style-type: none"> <農政部農産物流通課> ・地域の魅力再発見食育推進事業 		
4 保護者、地域住民、学校等の連携による活動の促進【条例第14条】	<ul style="list-style-type: none"> <環境生活部環境生活政策課> ●岐阜県家庭の教育力向上事業（企業内家庭教育研修） ●家庭教育推進専門職の設置 ●家庭教育支援推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <環境生活部私学振興・青少年課> ・家庭の日啓発図画・ポスターの募集 ・家庭の日の取組発表 ・（公社）岐阜県青少年育成県民会議の活動支援 <環境生活部人権施策推進課> ●社会人権学習資料の作成 <健康福祉部保健医療課> ●食育推進連携事業（食育推進体制整備） <ul style="list-style-type: none"> <健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 ●子ども参観日の開催促進 <ul style="list-style-type: none"> <健康福祉部子ども・女性局子育て支援課> ●孫育てガイドブックの作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> ・女性健康支援センター事業 <農政部農産物流通課> ●地域の魅力再発見食育推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> <学校安全課> ●あったかい言葉かけ運動の推進 ●いじめ・不登校等未然防止事業 ●学校安全総合支援事業 ●学校安全支援事業 ●防災教育月間 <学校支援課> ●岐阜県道徳教育振興会議 ●幼児教育総合推進事業 <体育健康課> ●G I F U食のマイスタープロジェクト事業 	<ul style="list-style-type: none"> <少年課> ●スマートフォン等の普及を踏まえた児童の犯罪被害等を防止するための情報モラル教室 ●少年非行防止タウンミーティング ●岐阜県警察スクールサポーター制度 ●少年警察ボランティアによる少年の活動機会の提供と居場所づくりの推進
5 相談体制の整備等【条例第15条】	<ul style="list-style-type: none"> <環境生活部環境生活政策課> ・家庭教育支援推進事業 <環境生活部県民生活課> ●消費生活相談 ●法律相談事業 <環境生活部私学振興・青少年課> ●青少年SOSセンターの運営 <健康福祉部保健医療課> ●こころのダイヤル119 <健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●男女共同参画・女性の活躍支援センター運営事業 <ul style="list-style-type: none"> <健康福祉部子ども・女性局子育て支援課> ●女性健康支援センター事業 <ul style="list-style-type: none"> <健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課> ●児童家庭支援センター運営事業 ●ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業 	<ul style="list-style-type: none"> <学校安全課> ●スクールカウンセラー設置事業 ●スクールソーシャルワーカー活用事業 ●教育相談業務専門職等設置事業 ●子供SOS24電話相談事業 ●適応指導教室設置事業 ●教育相談 ●SNSを活用した相談体制構築事業 ●スペシャリストサポート事業 <特別支援教育課> ●発達障がい児童生徒支援事業 ●特別支援学校のセンター的機能充実事業 	<ul style="list-style-type: none"> <少年課> ●少年サポートセンター等推進事業 ・岐阜県警察スクールサポーター制度
6 広報及び啓発【条例第16条】	<ul style="list-style-type: none"> <環境生活部環境生活政策課> ・岐阜県家庭の教育力向上事業（「家庭教育を实践する日」の啓発） <環境生活部私学振興・青少年課> ・家庭の日普及啓発 ・家庭の日啓発図画・ポスターの募集 ・家庭の日の取組発表 ・（公社）岐阜県青少年育成県民会議の活動支援 <環境生活部人権施策推進課> ●人権啓発フェスティバルinぎふ 	<ul style="list-style-type: none"> <学校安全課> ●学校教育ネット安全・安心推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> <広報県民課> ●命の大切さを学ぶ教室 <少年課> ・スマートフォン等の普及を踏まえた児童の犯罪被害等を防止するための情報モラル教室 ●規範意識啓発活動事業（中学生によるMSJリーダーズ活動、高校生によるMSJリーダーズ活動への支援）

	知事部局	教育委員会	警察本部
	<健康福祉部保健医療課> ●食育推進連携事業（食育の日普及啓発） <健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●ぎふっこ応援ポジティブキャンペーン事業 ●女性の活躍推進に向けた情報発信事業 ・ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 <健康福祉部子ども・女性局子ども家庭課> ●オレンジリボン・キャンペーン事業 ●女性に対する暴力をなくす運動 ●DV防止等普及啓発事業		
7 団体活動の促進 【条例第17条】	<環境生活部環境生活政策課> ●青少年団体への支援 <環境生活部県民生活課> ・地域づくり人材養成講座 <環境生活部私学振興・青少年課> ●（公社）岐阜県青少年育成県民会議の活動支援 <健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ・ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業拡大促進 ・子ども参観日の開催促進 <農政部農産物流通課> ・地域の魅力再発見食育推進事業	<学校支援課> ●PTA（岐阜県高等学校PTA連合会）への支援 ●PTA（岐阜県PTA連合会）への支援	<少年課> ・少年警察ボランティアによる少年の活動機会の提供と居場所づくりの推進
8 家庭教育を实践する日 【条例第18条】	<環境生活部環境生活政策課> ●岐阜県家庭の教育力向上事業（「家庭教育を实践する日」の啓発） <環境生活部私学振興・青少年課> ●家庭の日普及啓発 ●家庭の日啓発図画・ポスターの募集 ●家庭の日の取組発表 <健康福祉部子ども・女性局男女共同参画・女性の活躍推進課> ●「早く家庭に帰る日」（毎月8のつく日）の普及	<体育健康課> ・GIFU食のマイスタープロジェクト事業	